

《原 著》

正常冠動脈を呈する狭心症症例 (Syndrome X) における
冠微小循環機能の非侵襲的評価の試み
運動負荷 / 安静 ^{99m}Tc -tetrofosmin 心筋 SPECT を用いて

辻 本 豪*

要旨 [目的] 運動負荷 / 安静 ^{99m}Tc -tetrofosmin 心筋摂取増加率 (Myocardial Tetrofosmin Uptake: MTU) を用い Syndrome X (Sx) の冠微小循環機能を評価すること . [方法] 負荷時心電図にて 0.1 mV 以上の ST 低下を認め冠動脈に有意狭窄や冠攣縮を認めない Sx 11 例 , 正常群 (C) 10 例を対象とし , 心筋 SPECT から MTU (%) を ((運動負荷時像カウント - 補正安静時像カウント) / 補正安静時像カウント - 1) \times 100 の式より算出 . 左室全体と局所 (前壁 , 中隔 , 下壁 , 後側壁) の MTU を求めた . [結果] 1) 左室全体の MTU は Sx が C より低値 ($12.9 \pm 5.4\%$ vs. $22.3 \pm 10.8\%$, $p < 0.05$) であった . 2) 局所 MTU は下壁以外すべて Sx が C より低値 ($p < 0.05$) であったが , Sx, C とも局所領域間の MTU には差を認めなかった . 3) Sx にて負荷心電図上 ST/HR loop は虚血パターンを呈さなかった . [結論] MTU にて Sx における左室のび漫性の冠微小循環機能低下を非侵襲的に評価し得た .

(核医学 37: 339-348, 2000)